

土壌分析結果

< 分析結果 >

< 分析センター >

パイオニアエコサイエンス株式会社
P.S.ラボ/MRDC
〒329-0923
栃木県宇都宮市下栗町695-6
TEL 028-688-0391
FAX 028-688-0392

< 分析依頼者 >

農家名 サンプル 様
作物 トマト
ブロック
定植予定日
採取日 平成 年 月 日
分析日 平成 年 月 日

< 診断 >

担当者

	低い	やや低い	適正	やや高い	高い
pH(1:5 water)					
EC					
硝酸態 チツソ					
BSES リンサン					
Bicarb リンサン					
カリ					
カルシウム					
マグネシウム					
イオウ					
亜鉛					
銅					
マンガン					
鉄					
ホウソ					
塩素					
ナトリウム					
塩基バランス					
カリ					
カルシウム					
マグネシウム					
ナトリウム					

TEC (総合塩基置換容量) 小さい

コメント

昨年の分析結果で高かったpHが、改善されています。pHが高いと、微量元素が効きづらくなってしまいます。但し、微量元素レベルは不足しているため、微量元素肥料を投入して下さい。

肥料どうしのバランスが崩れているので、カルシウムのアップが必要です。

「根の張り」や「肥料効果」には、pHと肥料どうしのバランスが重要です。

また、保肥力(上記TEC)が小さくても、「根の張り」や「肥料効果」に影響を与えます。

堆肥や元肥を過剰に投入せず、生育状況と天候を確認しながら、液肥メニューや追肥で調整しましょう。尚、定植前にかん水チューブを通じて、以下のように流して下さい!

「PSコレイーネ 200cc + PSアクティベーター 1L / 10a当り」

元肥	Kg・L / 10a	N	P	K	Ca	Mg
完熟堆肥	2,000					
米ぬか	200					
炭酸カルシウム	60				31.8	
ゼオライト	所定量					
有機肥料		10	5	5		
ケイ酸カリ	30			6		0.9
過リンサン石灰 (過石)	30		5.1			
微量元素	所定量					
合計	2,320	10	10.1	11	31.8	0.9

この結果は、当研究所に持ち込まれたサンプルの分析値です。サンプリングの方法、環境や管理上の条件等の変動要因により、この結果及びそれに対する処方方が作物に十分反映されなかったとしても、当研究所は一切責任を負いません。処方は分析結果及び農家からの聞き取りを基に忠実に行われたものです。